

阪神高速道路株式会社入札監視委員会(2020年度第3回)審議概要

開催日及び開催場所	2020年12月21日(月) 阪神高速道路株式会社会議室		
委員	石丸鐵太郎(神戸中央法律事務所 弁護士) 古田 均(大阪市立大学 特任教授) 武田 邦宣(大阪大学大学院法学研究科教授)		
審議対象期間	2020年7月1日～2020年9月30日		
抽出案件	6件(総件数24件)		
(内訳)	工事	一般競争(政府調達協定対象)	1件(総件数3件) (案件①)
		一般競争(政府調達協定対象外)	1件(総件数5件) (案件②)
		技術提案・交渉方式	1件(総件数1件) (案件③)
		指名競争	0件(総件数0件)
		随意契約	1件(総件数2件) (案件④)
	建設コンサルタント業務等	1件(総件数10件) (案件⑤)	
	物品等の購入等	1件(総件数3件) (案件⑥)	
委員からの意見・質問、それに対する回答	意見・質問	回答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	意見・勧告なし		

意見・質問	回 答
<p>【案件①】 「豊崎工区換気所新築及び開削トンネル・下部工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> 品質確保体制評価点について、かなりの差が出ているが、そんなに変わるものなのか。 入札概要に「本工事は試行工事である。」と書いているが、試行とは何を言うのか。「試しの工事」なのか。 <p>【案件②】 「通信線路整備その他工事（2020-1-大管・神管）」</p> <ul style="list-style-type: none"> 入札前に辞退している者があるが、辞退理由は分かっているのか。制度上、辞退した場合にはその理由を確認する、というようなものはないのか。 <p>【案件③】 「東大阪線鋼桁大規模修繕工事（その1）」</p> <ul style="list-style-type: none"> この縦目地は、いつ頃設置されたものか。 <p>【案件④】 「常磐工区西除川河川構造物等復旧工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に意見なし <p>【案件⑤】 「2020年度用地確定測量業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回目で価格が折り合わず、入札が2回行われているが、この時には何社が札入れするか、参加している者は分かっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質確保体制には入札価格が反映されており、今回はそのあたりが影響しております。 総合評価落札方式には、評価項目が多岐にわたっており、その組み合わせが毎回違うため言葉として「試行工事」と表現しております。「試しに」という意味ではなく、「組合せが新しいものである」という事です。 制度上はございません。ただ、契約が成立しなかった場合は、今後の参考に聞き取りを行うこともあるかと思っております。今回については、契約が成立しましたので、あえて辞退した者に確認は行っておりません。 拡幅工事が行われたのは、平成6年から平成7年ごろで、20年ほど経過しております。 分からない状態です。

【案件⑥】

「新交通管制システム認知度向上に係る紹介資料作成業務（2020年度）」

・ 専門家向けパンフレットに中国語が無いのはなぜか。

・ 中国語は誰が内容のチェックをするのか。

・ 海外から当社に訪問する専門家は英語を理解できるとの前提で英語のみとしています。必要な場合は中国語で作成するリーフレットで補完できると考えています。

・ 成果品の検査の際に、どのように翻訳をしたのかも含めて検査を行うものと考えています。

以 上